

# 旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
地理歴史	世界史探求	3	2	選	特進コース
科目の目標	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。				
教科書	世界史探求 高校世界史 (山川出版社)	副教材等	必要に応じて用意する		

## 1. 学習の到達目標

1年次に履修した「歴史総合」の学習によって身につけた資質・能力を基に、世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な視点から考察し、理解を深める。

## 2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能), Y(思考・判断・表現), Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
文明の成立と古代文明の特質	4	4	文明が成立した過程や、古代文明の特質について理解させる。	○	○	○
中央ユーラシアと東アジア世界	5	4-5	中央ユーラシアの遊牧国家の興亡、東アジアの国家の形成や変化について理解させる。	○	○	○
南アジア世界と東南アジア世界の展開	3	5	南アジアでの宗教と国家の成立について理解するとともに、宗教と文化や思想の繋がりについて考察させる。	○	○	○
西アジアと地中海周辺の国家形成	5	5	西アジアにおける国家の成立と、地中海周辺の国家形成について理解させる。 キリスト教の成立と発展について理解させる。	○	○	○
イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	4	6	イスラーム教の成立と、民族の大移動に伴うヨーロッパ世界の形成について理解させる。	○	○	○
イスラーム教の伝播と西アジアの動向	3	6	イスラーム教の拡大と、それに伴う国家への影響について理解させる。	○	○	○
ヨーロッパ世界の変容と展開	6	7	ヨーロッパでのキリスト教と国家の関係について多面的・多角的な視点から考察させ、西ヨーロッパにおける封建社会の形成と動向、東ヨーロッパにおける国家の形成について理解させる。	○	○	○
東アジア世界の展開とモンゴル帝国	3	7	モンゴル帝国の興亡について、「世界の一体化」という視点から考察し、理解させる。	○	○	○
大交易・大交流の時代	4	7-8	ヨーロッパの海外進出に伴う世界の変化について、図や資料から情報を読み取り、理解を深めさせる。	○	○	○
アジア諸帝国の繁栄	3	8	16世紀のアジアの諸帝国の繁栄について理解させる。	○	○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
近世ヨーロッパ世界の動向	6	9	ルネサンスと宗教改革、主権国家の成立を中心に、近世のヨーロッパ世界の動向について理解させる。	○	○	○
産業革命と環大西洋革命	5	9-10	ヨーロッパにおける産業革命、アメリカ合衆国の独立と発展、フランス革命とナポレオンの支配について理解させる。	○	○	○
イギリスの優位と欧米国民国家の形成	6	10	ヨーロッパにおけるウィーン体制の成立と崩壊、ヨーロッパ諸国の再編成、アメリカ合衆国の発展について理解させる。	○	○	○
アジア諸地域の動揺	5	11	ヨーロッパの海外への進出によるアジアの変化について理解させる。	○	○	○
帝国主義とアジアの民族運動	6	11-12	欧米による帝国主義と、アジア諸国の変革と民族運動について理解させる。	○	○	○
第一次世界大戦と世界の変容	6	12-1	第一次世界大戦の概要とその後の世界の変容について理解させる。	○	○	○
第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	6	1-2	第二次世界大戦の概要とその後の新しい国際秩序の形成について理解させる。	○	○	○
冷戦と第三世界の台頭	4	2	冷戦の展開と緩和、第三勢力の台頭について理解させる。	○	○	○
冷戦の終結と今日の世界	6	3	冷戦の終結と現代の世界について理解させる。	○	○	○